

政治学入門

2020年度群馬大学 教養教育・教養育成科目・社会科学科目群

火曜 1-2 時限

群馬大学社会情報学部 行政学研究室 北村 純

諸般の事情で、電子シラバスの内容を一部変更して授業を進めます。

1. moodle による授業資料の配付

- 1.1. 授業資料を全学 moodle にアップしていきます。
- 1.2. 教養教育の登録期間のあいだ「仮登録キー」を zoom による授業（1 回目、2 回目）において zoom の画面で公表します。
- 1.3. 履修登録者が確定した後、「仮登録キー」から「（本）登録キー」へチェンジします。「（本）登録キー」は教務システムで履修登録者に配信します。

2. 第 1 回（4 月 20 日）～第 3 回（5 月 12 日）までの暫定スケジュール

2.1. 第 1 回（4 月 20 日）

(a)8:40 オリエンテーション→(b)9:10 頃「政治学への道案内」→(c)9:40 頃オリエンテーション（再）

(a)(c)授業の概要について説明します。(c)は (a)とほぼ同じ内容となります。(a)を聞き逃した場合 (c)を聞いて下さい。この授業は 10:10 が終了時刻ですが、次のオンライン授業の準備があると思いますので、早めに終わることにします。

2.2. 第 2 回（4 月 27 日）

(a)8:40 オリエンテーション（再）（4 月 10 日(a)(c)とほぼ同じ内容）→(b)9:10 頃「政治と政治学：基礎概念」→(c)9:40 頃質疑

(a)授業の概要について説明します。4 月 10 日(a)(c)とほぼ同じ内容です。(c)は zoom による質疑の時間とします。この授業について質問等ありましたら、この時間を使います。この授業は 10:10 が終了時刻ですが、次のオンライン授業の準備があると思いますので、早めに終わることにします。

2.3. 第 3 回（5 月 12 日）

(a)8:40-8:50 zoom へのアクセスの時間帯とします。(b)8:50 「日本政治：4 つのデモクラシー」前半講義。(c)9:15 頃「中間レポート」について、課題図書の内容とレポートのまとめ方について説明します。(d)9:40 頃「日本政治：4 つのデモクラシー」後半講義。この授業は 10:10 が終了時刻ですが、次のオンライン授業の準備があると思いますので、早めに終わることにします。

3. 第4回（5月19日）以降のスケジュール

3.1. 自宅待機期間終了後のこの授業のあり方については、大学等の状況を見て改めて連絡します。

連絡は教務システムで履修登録者に配信します。

4. 中間レポートの提出

4.1. 中間レポートは読書レポートとなります。課題図書は、成田龍一『戦後史入門』（河出文庫）河出書房新社、2015年、です。課題図書の内容とレポートのまとめ方については第3回（5月12日）のOnline授業で説明します。中間レポート提出の締切は6月26日（金曜）とします。

5. 期末レポートの提出

5.1 期末レポートの課題は第9回の授業（6月23日）で説明します。期末レポートの提出締切は

授業概要（電子シラバスの内容と同じ）

日本近現代政治を歴史の相において考察する。自由・平等・平和の3軸に沿って民主政治の発展を概観しつつ、わたしたちにとって政治とは何かについて理解を深める。明治期から現代まで、この国の民主政治の発展をデモクラシー論の文献（抜粋）や各種の資料を見ながら進める。1回1テーマで話しを進めるので、学生は、(a) syllabus等で紹介する文献を直接図書館などで手にとって自分で見てみるとよい、(b)講義で示す論点について自分なりに考えをまとめながら聞いてもらえるとうれしい。

授業スケジュール

- (01) 政治学への道案内 Online 授業
- (02) 政治と政治学：基礎概念 Online 授業
- (03) 日本政治：4つのデモクラシー Online 授業

以下の回の講義について大学等の状況を考慮して、改めて教務システムで履修者へ連絡します。

授業回数が減っているので第12回～第15回までのテーマを差し替えています。

- (04) 明治デモクラシーを考える(1)
- (05) 明治デモクラシーを考える(2)
- (06) 大正デモクラシーを考える(1)
- (07) 大正デモクラシーを考える(2)
- (08) "昭和デモクラシー"を考える
- (09) 日本は「持たざる国」だったか
- (10) 戦後デモクラシーを考える(1)
- (11) 戦後デモクラシーを考える(2)
- (12) (日本政治の現状と課題 1)男女平等はどこまで進んだか
- (13) (日本政治の現状と課題 2)丸山真男「憲法九条をめぐる若干の考察」をめぐ

って

(14) (日本政治の現状と課題 3)the 1918(-20) flu pandemic の経験から

*第 14 回の授業では必ずコメントの提出を求めます。

(15) (定期試験は実施せず)期末レポートで代替する

成績評価基準（授業評価方法）

成績評価方法：

①クラスへの貢献および不定期で実施する授業内容に関するコメントシートの提出（20%）→ただし、第 1 回～第 3 回の Online 授業においてはコメントシートの提出は求めない。

②読書レポート作成・提出（30%）

③期末レポート作成・提出（50%）の 3 点から総合的に評価する。

成績評価基準：①②③に関しての(a)講義内容の理解度、(b)論理的・構成的にレポートを書く能力、(c)意見や議論の適切さの 3 点を軸に、A～D の段階的評価（絶対評価）を行う。